

2025 年 11 月 28 日

各 位

株式会社三井住友銀行

ジャパンエクセレント投資法人への「グリーンローン」の実施について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、ジャパンエクセレント投資法人（執行役員：佐藤 正浩/以下、「本投資法人」）に対し、本投資法人が策定したグリーンファイナンス・フレームワーク（以下、「本フレームワーク」）に基づくグリーンローン（以下、「本ローン」）を実施いたしました。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の使途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポーティングを通じ透明性が確保されたものを指します。

ジャパンエクセレント投資法人は 2006 年に設立・上場して以来、中長期的な観点からの安定成長と投資主価値の最大化を変わらぬ目標として、主として大都市圏・東京圏のオフィスビルへの投資運用を継続しています。本投資法人及び本投資法人が資産運用業務を委託しているジャパンエクセレントアセットマネジメント株式会社は、企業の社会的責任として持続可能な社会の実現に向け、不動産投資運用事業における環境負荷の低減、社会の中で活動する一員としての多様なステークホルダーとの連携・協力、企業としてのガバナンスの強化への取組みを経営の最重要課題と認識しています。また、この ESG 配慮への取組みが、本投資法人の中長期的な成長及び投資主価値の向上にとっても不可欠であると認識しており、さらなる深化に向け、前向きに取り組んでいく方針です。

今般、本投資法人はこのような取組みの一環として、本フレームワークに定める適格クライテリアを充足するプロジェクトの借り換えを資金使途として、グリーンローンを調達いたしました。本フレームワークは、第三者評価としてサステナリティクスより、国際金融業界団体の LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及び APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「グリーンローン原則」、並びに、環境省にて策定された「グリーンローンガイドライン」等において求められる項目について基準を満たしているとの評価を得ています。

【本ローンの概要】

契約日	2025 年 10 月 29 日
実行予定日	2025 年 11 月 28 日
契約金額	10.8 億円
契約期間	54 か月
貸付人	株式会社三井住友銀行
資金使途	「大森ベルポート D 館」(CASBEE 不動産評価：S ランク取得物件)の取得資金として調達した借入金のリファイナンス

株式会社三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成に一層貢献してまいります。

(参考)

ジャパンエクセレント投資法人 ホームページ：

<https://www.excellent-reit.co.jp/>

をご参照ください。

サステイナリティクスによる評価結果：

<https://www.excellent-reit.co.jp/ja/esg/green-bond.html>

をご参照ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

法人戦略部 サステナブルソリューション室

TEL：03-4333-6965

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。